

山形陸協通信

JAAF
YAMAGATA

第2号 編集・発行／一般財団法人山形陸上競技協会

〒994-0103 天童市大字川原子1445番地の2 TEL 023(657)3070

挨拶

一般財団法人山形陸上競技協会 会長 高橋 健二



この6月の役員改選で引き続き会長を務めることとなりました。会員のみなさんの声をしっかり受けながら、会員のみなさんのための協会となるよう、また、すべての競技者のみなさんが充実した競技生活となるよう務めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

さて、本協会は一般財団法人としてスタートして1年が経過いたしました。この間、組織体制の整備、諸業務における執行の手順と役割分担の整理、各市・地区陸協、協力団体との連携の在り方など、どちらかというとも基盤整備に費やした1年でありました。この間、関係各位より多大なご理解とご協力さらにはご助言等もいただき本当に感謝申し上げます。おかげさまでなんとか軌道に乗ってきているところであります。

2年目を迎えた本協会はさらに一步ステップアップしなければなりません。

そのため、重点的に取り組む内容として掲げている4つの柱①組織の強化と財政基盤の確立、②より良い競技会の運営、③競技力の向上・強化、④陸上競技の普及・振興をいかに形のあるものにできるかが問われます。

それぞれの柱で示している具体的な事業に、しっかりと取り組んでいかなければなりません。

なお、お願いになりますが、各市・地区陸協、協力団体におかれましても、今後、この4つの柱に関連する項目あたりを目標の中に位置付けていただければと思いますし、何らかの機会を捉えて話題にいただければと思います。

今後、より連携を密にしながら、さらには、情報交換を行いながら、共に取り組んでいくことによって、各市・地区陸協の充実発展はもとより、本県全体の競技力向上並びに普及振興につながっていくものと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

祝 南陽市役所チーム 13位

全日本実業団対抗駅伝競走大会出場

11月3日に埼玉県で開催された東日本実業団対抗駅伝競走大会で、平成26年1月1日に群馬県での全日本実業団対抗駅伝競走大会（ニューイヤー駅伝）の出場権を獲得しました。

平成23年と24年は、もう一步のところで出場権

に手が届きませんでした。今年、チーム一丸となって取り組んだ結果、大きな夢をかなえました。

全国の舞台での活躍を期待いたします。

平成25年度第1回定例理事会、定時評議員会を開催

平成25年6月1日に平成25年度第1回定例理事会と第1回定時評議員会が開催され、平成25年度と26年度の理事及び監事が承認されました。同日に理事の互選により、会長はじめこれまでの副会

長・専務理事・常務理事が継続、秋久保理事が新たに常務理事となりました。

二期目となりますが、これまで以上のご支援・ご協力をお願いいたします。

平成24年度 決算報告（予算対比正味財産増減計算書からの抜粋）

経常収益の登録料は、中学生・高校生・一般・審判員の登録料です。寄付収入は、前年度期末残高と基本財産です。補助金収入は、山形県、財団法人日本陸上競技連盟、公益財団法人山形県体育協会からの補助金です。事業収入は、山形陸協が主催事業となる県選手権大会・小学生陸上・少年少女スポーツ交流大会に係る参加料です。雑収入は、強化合宿等の自己負担分や前記の収入に入れないその他の収入です。

経常費用の事業費は、主催大会の大会運営費、国体や都道府県対抗駅伝等の強化のための費用です。管理費は、事務局職員の給与、事務所経費、通信費、法人税等の費用です。

正味財産期末残高は、これまでの繰越金に当たるもので、平成24年度正味財産期末残高9,876,885円には、基本財産の財源3,000,000円も含まれており、実質残高は6,876,885円となります。

法人税については、収益事業の合計が、マイナ



スとなったため、国税はゼロ、県民税は16,500円（均等割の9ヶ月分）、市民税は50,000円（均等割12ヶ月分）で、計66,500円となりました。消費税は該当しません。

法人会計システムをこれまでの陸協会計項目に合わせていただいたことにより、詳細項目が分かりやすくなっております。

単位：円

項目	予算額	決算額	差異（決算－予算）
経常収益			
登録料収入	10,114,000	10,358,100	244,100
寄付金収入	6,986,000	9,986,778	3,000,778
補助金収入	15,413,000	15,631,555	218,555
事業収入	4,857,000	5,234,150	377,150
雑収入	2,115,000	2,344,144	229,144
経常収益計	39,485,000	43,554,727	4,069,727
経常費用			
事業費	24,143,000	23,526,843	△616,157
管理費	15,342,000	10,150,999	△5,191,001
経常費用計	39,485,000	33,677,842	△5,807,158
正味財産期末残高	0	9,876,885	9,876,885

各部からのお知らせ 《記録情報部》

◆今年度前半の活動状況と今後の計画

記録情報部長 池田 正敏

1. 陸連への記録報告の状況

10月12日まで84大会実施に対して、61大会の記録を受理。内52大会は公認申請済み。未着分は、今後督促予定。地区によって、到着時期にばらつきがある。なお、陸連電子申請（陸上競技マガジン）に続いて、「月刊陸上競技」も大会結果の電子データでの受付を開始したため、記録の送付についての方法を再検討する必要がある。（ただし、陸連電子申請はプログラムも電子データでなければならないため、当分は紙での送付も続くと考えられる。）

2. 情報機器を活用した大会の運行（陸協HP掲載数他）

38大会の記録を、県陸協HPに公表。県大会だけではなく、地区大会等でも、高体連が参加する大会を中心に積極的に情報機器の活用をすすめている。（山形、天童、鶴岡、酒田、米沢）その際、県陸協の情報機器関連機材の持ち込みおよび研修用機材の各地区への再配分等を行い、大会運行が行えるように対応した。また、大会を通しての人材育成などを県高校総体、県選手権および東北選手権を機会としてすすめてきた。なお、県高校新人の際に高体連陸上競技専門部内記録情報委員会の委員とH29山形IHに向けての日程および人員についての打ち合わせを行った。

3. 各担当との連携等について

大会運行に関わる部分では、打ち合わせなどを行って対応した。

（県小学生陸上、県少年少女スポーツ交流大会：普及部）他の部分は、まだ進めていない状況である。

4. その他の活動

- 県陸協HPを通して、以下の対応を行った：
 - ・県公認記録集、県公認記録集CD-ROMの発売とその対応
 - ・県公認記録集の訂正
 - ・「県記録等の更新に関わる考え方」の公表（記録速報は、HPの様式が変わってから、行っていない）
- 県事務局と連携して、記録集およびCD-ROMの販売に対応した。

5. 今後の活動について

- 1) 公認申請業務の実施と未着記録の督促の実施
- 2) 情報機器を活用する大会の運行及び運行サポート
- 3) 公認記録集に関わる業務の対応（各担当との情報交換、作成の日程案など、それにかかわっての担当者の打ち合わせの実施）
- 4) 各部との打ち合わせ実施
- 5) 記録証の様式、申し込み用紙などの改訂の実施（申し込みの様式の変更、および記録証をサイズA4に変更した。）

6. 気がついた点など

CD-ROMについて、亡妻の高校時代に取り組んでいた陸上競技の記録を知りたいという東京在住の方からの購入依頼がありました。陸上競技の記録は、その時だけのものではなく、人の人生と記憶の両方に関わる大切なものであることを改めて感じました。今後も、微力ながら県での大会における記録の対応に誠意を持って取り組んでいきたいと思えます。

第44回東北陸上競技選手権大会 閉幕

山形県選手大活躍、男子21種目で8位以内入賞者31人2チーム、その中で優勝6種目5人、女子20種目で8位以内入賞者32人4チーム、その中で優勝4種目4人。

大会開催に向けて、準備から大会当日と多くの審判員の方々からご尽力いただき、感謝いたします。

東京国体 選手団の活躍

陸上競技の県選手団の主な成績は、成年男子100mで安孫子充裕選手（ミズノ）が10秒59で第7位、少年男子A走幅跳で石井想太選手（楯岡高3年）が7m29（+0.2）で第5位、少年男子共通800mで木伏雄太郎選手（東海大山形高3年）が1分51秒96で第2位、成年女子800mで小野莉奈選手（福島大1年）が2分8秒95で第8位、成年女子5,000mで阿部有香里選手（しまむら、ふる

さと選手）が15分47秒87で第7位、少年女子B200mで村山詩織選手（九里学園高1年）が24秒92（-0.3）で第5位に入賞しました。

入賞しました選手の皆さん、おめでとうございます。

国体に出場しました選手の皆さんも、予選・決勝で全力を出し切ってください、感謝申し上げます。



成年男子
100 m
安孫子充裕
選手



少年男子A
走幅跳
石井 想太
選手



少年男子共通
800 m
木伏雄太郎
選手



成年女子
800 m
小野 莉奈
選手



成年女子
5000 m
阿部有香里
選手



少年女子B
200 m
村山 詩織
選手

編集後記

平成24年10月に第1号を発行し、その後、間が空いてしましまして、第2号を発行することができました。今回は、法人会計として初めて決算が出ましたので、その状況をメインに専門部からのお知らせ等を掲載いたしました。各専門部の部長さんには、何かとご多忙の折に原稿を出していただき感謝いたします。再任されました高橋会長か

らは、会長挨拶を寄稿いただきました。

これからも、会員の皆様方から山形陸協を知っていただける身近な「山形陸協通信」となれるように努力してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

（編集担当 専務理事・総務委員会総務部）